

## 平成30年度スカウトソングワークショップ実施概要報告

2019. 01. 16 現在

期 間：平成31年1月12日（土）12：35～1月13日（日）12：00

場 所：東京、築地本願寺

参加者：12県連盟22人（男性 11人、女性 11人）

過去にソング研修会に参加したことがある方 12人

部門別内訳：BVS指導者 4人、CS指導者 5人、BS指導者 4人、VS指導者 3人、  
RS指導者 1人、団指導者 5人

県・地区での役務：県連盟コミッショナー2人、県連盟副コミッショナー5人、県連盟ディレクター1人、  
県連盟役員2人、県連盟指導要員・トレーニングチーム員3人、地区コミッショナー2人、  
地区副コミッショナー4人、地区総務委員長1人

スタッフ：主任講師 石原 徹 スカウトソング特別委員会 委員長

小笠原 妙香、鹿ノ内 美智子、品田 千絵保、日上 光明、山崎 裕 各スカウトソング特別委員会委員

日本連盟事務局 平岡 努、依田 須美子

費用：参加費 一人あたり12,000円（施設代、資料代、夕食・朝食代 他、消費税を含む）

### プログラムと主な内容：

#### 1月12日（土）

12：15 受付開始

12：35 開会式、オリエンテーション

13：00 §1 スカウトソング研修会の目的と目標の設定（45分）

担当：石原委員長

運営ハンドブックの策定目的と特徴・構成、スカウトソング研修会の目的・目標設定の重要性について学びました。

13：45 §2 歌を活用したアイスブレイキング（35分）

担当：鹿ノ内委員

研修会の導入のセッションであるので、緊張や恥ずかしさを取り除き、セッション展開を円滑に行えるようにする必要性と方法を理解し、アイスブレイキングによりスタッフと参加者、参加者相互の良い人間関係を築くことができることを体験しました。



14：20 休憩（10分）

14：43 §3 セレモニーと歌（90分）

担当：石原委員長

セレモニーにおけるソングの導入意義と方法、由来や歌詞を理解するとともに、基本的な指揮の実習を行いました。



16：00 休憩（10分）

16：10 §4 ビーバー歌集とカブ歌集の活用（80分）

担当：品田委員

年代に応じた歌唱指導の方法、集散時における特徴あるソングの導入方法等を学びました。



17：30 夕食、休憩、チェックイン

18：40 §5 研修会の企画（1）（80分）

担当：石原委員長  
研修会の企画、セッション全体の構成（流れ）を、グループ作業にて作成しました。

20:00 休憩（10分）

20:10 § 6 キャンプファイアと歌（60分）

担当：鹿ノ内委員  
ソングでつなぐキャンプファイアの方法を体験し、ナイトライフの歌を用いることの意義を理解しました。

21:10 自己ワークショップ

班毎に分かれ、研修会の企画書、セッションの目標・ねらい・留意点等を作成しました。



### 1月13日（日）

08:00 朝食

08:40 § 7 ボーイ歌集の活用（50分）

担当：日上委員  
ボーイ部門以上の活動におけるソングの導入方法を理解するとともに、スカウトスピリッツに触れるソングの意義と歌唱指導の方法を研修しました。



09:30 § 8 研修会の企画（2）（60分）

担当：石原委員長  
研修会の各セッションの運営要項と実施計画書の作成作業をグループで行いました。

10:30 休憩（10分）

10:40 § 9 イェールとアクションソングの導入（40分）

担当：山崎委員  
イェールを覚え、明瞭な声で効果的に歌う方法や、そのアクションを体験して効果的な指導方法を学びました。



11:20 § 10 研修会の企画（3）（30分）

担当：石原委員長  
研修会の企画等についてプレゼンテーションができるよう、企画から実施までのプロセスを体験しました。



11:50 閉会式

12:00 解散

### 《参加者の感想》

- ・順序だてがしっかりしたセッション構成で、体系的に研修会の構築手法を理解することができた。自分の県で研修会を進めていきたいと思った。
- ・委員の皆様様の動作、身振り、目配り等、とても参考になった。スカウティングの中のS・O・N・G等、気づきや学びがたくさんあった。地区のトレーニング要員で共有したい。
- ・ソングの研修だけでなく、研修会の企画・計画を学び、グループワークで実際に企画書、セッション構成、進め方、実施計画書を作成できたことは成果だった。地区でも歌研の開催の必要性を伝えたい。
- ・グループワーク、自主ワークショップの時間が短った。もう少し、作業時間がほしかった。今回の研修は、内容密度があまりに豊富で、これからいかに消化していくかが課題である。

県連盟又は地区が主催するスカウトソング研修会の要員(スタッフ)養成及び研修会の企画・運営スキルの習得を目的として、昨年度に引き続き、スカウトソングワークショップを開催した。12県連盟22人(男性11人、女性11人)が東京・築地本願寺に集い、1泊2日型の研修を展開した。

参加者の多くの方が県連盟の正副コミッショナー、ディレクター等の要職に就かれており、明確なるミッションを抱いて参加されたことを痛感すると共に、開設責任者としてその責務の重大さを改めて認識した次第である。

本ワークショップは、大きく二つの流れで展開し、一つはスカウトソングの実習であり、単に歌を覚え楽しむのではなく、曲目を厳選し、歌唱上の効果的な指導方法を具体的に演示し、参加者に体験してもらい、更に、楽曲のできた背景や由来、歌詞の意味などソングリーダとして必要なスキルや知識を伝えるよう配慮した。もう一つの流れは、定型外訓練としての研修会の企画・運営プロセスをグループワークを通して学び体験するものであり、自主的、具体的、協働的なセッション運営に努めた。

ワークショップの実習に関する参加者の感想としては、全体的に作業量が多すぎると感じた方と適当と感じた方が半数(11人)ずつであった。昨年開催時と比べ、実習の作業量を軽減し、ワークシートを改善し、自主ワークショップを行う作業場所の確保に努めた結果として、一定の成果を生むことができたのではないかと考えている。

一方、ソング実習時の展開や指導の方法、セッション実施計画書の策定段階の助言・指導の方法などについて、いくつか改善すべき事柄も散見されたので、来年度のワークショップの企画・運営に反映させていく所存である。

最後に、今期も参加者には、ワークショップ終了後1～2年以内に県連盟又は地区主催のスカウトソング研修会を企画・運営することを自己研修として設定することを推奨し、かつ、研修会の実施計画書及び報告書の提出を依頼している。本委員会としては、参加者の取組みに対し側面的支援をできる限り行う予定であり、全国各地で、継続的に研修会が開催されることを願っている。